

## 令和7年度第4回社会教育委員会議（書面開催）結果について

意見提出者：橋本議長、金田副議長、栗山委員、里村委員、三田委員、鈴木委員  
中谷委員、中野委員、松島委員、和田委員

### 1 議決事項

#### （１）「海老名市社会教育計画（案）」について

##### ア パブリックコメントへの回答について

承認9名、不承認1名 よって、承認されました。

##### 【承認】

委員：指定管理者制度の導入は、メリット・デメリットの双方があるのは当然ですが、今ある制度の改善や改革等は経常的にしていく必要があると思います。指定管理者とは常にコミュニケーションをとる必要があります。

委員：図書館については指定管理者制度導入時から様々な意見があると思います。個人的には何処にでもあるような図書館でなく独自性のある図書館でも良いと思います。

委員：仕方ないのですが、具体的にご意見いただいたのに、抽象的な回答しかできず、少し申し訳なく感じました。

委員：モニタリング会議が実施され、確認し、その意見は反映しているということでしょうか。蔵書数については、財政とも関わっているので横ばいなのか、ご意見により増やしているのか回答があった方がよいかと。

##### 【不承認】

委員：民間のノウハウを活用する中では、どうしてもすべての人の希望には沿えないが、だからこそリクエストの制度を市民には活用してもらうことがよいかと思います。

事務局：市民の方から意見については、モニタリング会議の中で、共有・検討し、運営の改善や対応等に反映しています。今回のパブリックコメントは、社会教育計画の内容に関してであったため、蔵書数についての回答はしておりません。市への問い合わせがあった際には、その都度市民の方にお答えしています。

#### イ 社会教育計画 最終案について

委員：大人の関わりも含まれたことで、大人の意識の向上につながると思います。こどもたちや若者に背中を見せられる大人でありたいです。

委員：H24年度から14年余りをかけて、こどもたちの健全育成をあらゆる面で支援されてきたことはうれしいことです。いよいよ計画也大詰めになり、地域・家庭・学校のつながりをコーディネートすること、教育委員会、市、我々大人の役割は、ますます大事と思っています。

委員：社会教育委員として継続して関わらせていただいています。学び支援課の担当者が受け継がれ、しっかりと対応が来ていることにこの会議の意義があると思って勉強させていただいています。継続しての個々の取り組みの成果を期待したいと思っています。

委員：今年度からの委員で多くの意見は出せませんでしたがご苦勞された社会教育委員の皆様には敬意を表します。内容は市の計画に沿った計画だと思います。

委員：よいです。14 ページの数値目標を目指しましょう。

委員：施策の方向（3）ユース事業について、海老名の社会教育の指針の一つである、こどもと大人のつながりに大きな効果があると考えているので、積極的に取り組んでいきたいと思います。

委員：「子ども」→「こども」と平仮名にすることに意味があるなら、案の中の「子ども」をすべて平仮名に。

委員：P7 3 施設の体系図<基本目標>「子どもの活動をとおして～」  
→「こどもの活動支援をとおして」

事務局：こども基本法の理念を踏まえ、「こども」と、平仮名表記としています。「海老名市子ども読書活動推進計画」「子ども・学校支援事業」などの計画名や事業名などは、漢字を使用しています。

ご指摘いただいた箇所については、修正しました。

## ウ リーフレット（案）について

委員：施策を確実に継続させていくことがまずは大事だと思います。実績を積み重ねることで委員の活動の周知につながり、説得力・信頼が高まっていくのではないのでしょうか。

委員：社会教育計画そのものや活動を知らないことがほとんどです。これから学校だけではなく、地域（大人たち）のかかわりがもっと必要になってくると思います。この手段の一つとして、リーフレットは必要と思っています。何かの機会に家庭や地域に知らせたいです。

委員：今さらですが、基本目標の「こども」の文字が多いので、読みやすい工夫があればと思います。

委員：キャッチコピー、とても素敵です。「かがやく」「広げて」にふさわしい稲作の写真が、言葉にぴったりだと思いました。

委員：内容はOK。表の稲の画像だけでは、社会教育（こどもと大人）の活動に対してインパクトが弱いのでは。

委員：これについてはもう少しアイキャッチが欲しいところではあります。フルカラーで印刷するならもう少し全体デザインをした方がよいかと。

## 2 報告

### （1）えびなっ子ふれあいフェスタ・いきいきシンポジウムについて

#### ○えびなっ子ふれあいフェスタについて

委員：こどもと大人の参加体験の場で、地域の行事や活動をとおして、いろいろな楽し取組があると知ってもらい、保護者を含む大人と、我々社会教育委員会メンバーや地域の方等の大人同士のふれあいも楽しいと思います。

委員：楽しみにしている人もいるようなので、もう少し時間を拡大（午前中）できないか。茶道など、申込制なのでもったいないと感じます。

委員：初めて参加しましたが全体的には良かったと感じました。若干の内輪イベント的な印象もありましたが、SNS 活用等で周知拡散すれば参加者が増えるのかなと思います。

委員：こどもたちもですが、皆さんと協働できる貴重な機会だと考えています。  
委員：昨年度も参加してくれていた娘の友達が、今年度も「違う体験をしてみたかったから！」と、また来てくれてました。また楽しみにしてくれているリピーター様もいるんだなと嬉しくなりました。

アンケートでの「体験させてみたい活動」について

①モルック⇒道具、えびな支援にあります！！

②玉入れ⇒文スポさん「玉入れ選手権大会」開催されているくらいなので、スポーツ推進委員さんにご協力いただいて、玉入れ体験はぜひとも来年度取り入れてみたいと思っております！！

第3期海老名市社会教育計画P7基本方針・施策の「体験・学びの機会提供」直下の「庁内・関係団体との連携」の達成に繋がるので、ぜひ。

委員：開催目的は「触れ合う機会」だとして、参加人数計画など、目的達成の指標をあらかじめ設定した方が検証しやすいと思います。

委員：参加者が減少した理由を検証しておきたい。

委員：開催場所についての選定を考慮したほうが良いと考えます。

委員：地理的に遠い学校の児童・生徒は参加しづらいのかもしれませんが、今後、サポート側で中学生にも参加してもらいたいです。

委員：7年度の参加者が前年より減っています。参加者を増やす工夫が必要です。「二胡」のサポートを担当しました。講師の方は文芸協の関係で旧知の方でした。「二胡」は一般にはなじみのない楽器なので心配していましたが、内容としては素晴らしかったです。次回も音楽体験は「二胡」で良いと思います。

- ・基礎の説明から始め、ドレミの音階の基礎から、曲「キラキラ星」が弾けるようにするカリキュラムが良く構成されていました。
- ・指導の方法がとても丁寧で、補助で指導に当たられた5人ほどの方々の存在がとても良かった。
- ・「二胡」の体験をしている子どもたちの目は輝いていました。

提言として、待ちのこどもたちが多いので基礎の時間配分を少なくして時間短縮を図り、多くのこどもたちが体験できるようにした方がよいと思います。

事務局：周知の方法については、重要な検討事項と考えます。今年度は、事前申込者が減少しました。開催場所の変更も減少した一つの要因と考えます。令和5年度は、ブース運営をした消防クラブのこどもたちも多く参加してくれました。

令和5年度事前申込 55名 計 201名参加（こどもセンター開催）

【おはやし 14名、ダンス 16名、茶道 25名】

令和6年度事前申込 96名 計 180名参加（文化会館開催）

【おはやし 19名、ダンス 22名、新体操 28名、茶道 27名】

令和7年度事前申込 37名 計 130名参加（こどもセンター開催）

【おはやし 13名、茶道 24名】

## ○えびなっ子いきいきシンポジウムについて

委員：いろいろな分野の方々にお話を聞くことができ、「あいさつ」がうまくできない、という話がありました。最初は無視？されていますが、会うたびにこちらからあいさつしていると、相手からしてくれるようになりました。遠くから手を振ってもらえました。こちらから積極的にすることはないが、会ったらすることが大事だと思います。

- 委員：とても良い取り組みで内容も良かったと思います。自分達の取り組みの確認、振り返りの良い機会になると思います。
- 委員：継続した取組でお願いしたい。
- 委員：中学校区で動くことが多い中、このシンポジウムは、地区を越えて、様々な立場からお話を伺えるので、色んな想いをを持った方を幅広く意見交換できる貴重な時間だなと思っております。アンケートを拝見すると、他団体との想いを分かちあうことで、明日からの活動への励みに繋がっていると感じました。
- 委員：広い世代がつながるきっかけになると感じています。また新しい考えや価値観に触れることができる機会の創出にもなっており、「目指す大人の姿」につながる活動とも言えると思います。
- 委員：現状のやり方はよいと思います。時間も足りないが、あまり多くの時間を費やしても、という気持ちもあります。トークセッションでは、1団体1人だとなかなか話せない子もいるのではと思うので、緊張しないように2人とか出してもらったりできないでしょうか。
- 委員：参加者個人個人は満足して帰られたと思いますが、交わされた意見を吸い出して、本会で活用できるとよいと思います。
- 委員：R7年度の参加者が前年より減っています。参加者を増やす工夫が必要です。若い人たちの社会教育に関する意見を聞くことができて良かったです。
- 委員：この会こそ、学生や20代に企画させたらおもしろいかと。

## （２）海老名市立図書館に関するアンケート結果について

### ○海老名市立中央図書館について

- 委員：ニーズに応じるのは大変だと思いますが、利用者の皆さんの居心地のよい環境づくりにご協力をお願いします。
- 委員：情報交換等随時実施され役割を果たしていると思います。
- 委員：満足度が年々上昇していてすごいなと思います。中央図書館さんの頑張りです。いつも素敵な企画をありがとうございます。  
アンケート問16「第3位カフェ／スタバ席や利用改善」は、具体的にどのような期待なのかが、気になりました。個人的に、カフェだけの利用者の会話中の声の大きさが気になることがあるので。
- 委員：利用者の満足度が高く、とても充実している印象です。今後の期待がとても大きく、みなさんが長く過ごしたいと思っている場所であることがうかがえます。全員が100%満足するのは難しいかもしれませんが、今後どのように変化していくのか、またどのような企画が実施されるのか、楽しみにしております。公式LINEはぜひ活用させていただきます。
- 委員：アンケートは詳細にわたりしっかりと分析されていて、とても良いです。中央図書館は時々利用します。私の感想もアンケートに書かれている内容と同じです。「年中無休」「開館時間」「館内の居心地等とても良い図書館だ」と思います。
- 委員：意外と市外の方の利用が多い点に驚きました。新しい形の図書館の満足度もまあまあ高いので、利用者に受け入れられているのだと思います。

## ○海老名市立有馬図書館について

委員：地域の文化に沿った取組がいいです。また、静かな環境づくりに努力されたと話を聞いております。これからも子どもたちと大人が来やすいようにお願いしたいです。

委員：使い勝手の良い図書館のイメージがありもっと利用者が増加すると。

委員：有馬図書館はコミセン併設なので地域密着でどんどん新しい取り組みをして欲しいです。

委員：先日初めて利用させてもらい、とてもほっとする空間でよかったです。

委員：職員さんの気遣い心配りをいつも感じております。その評価が、ゆるがぬ満足度に繋がっていると感じています。これからも、利用者目線にたった、あたたかな、帰りたくなるようなそんな図書館であり続けてほしいなと思います。

東柏ヶ谷小学校 市民図書室について P 1 2 問 1 5

└「平日利用できるようにしてほしい」

防犯対策は必要ですが、地域の方が自然に入ってきてくださることで、学校や子どもたちのことを知っていただくいい機会になるのでは？とも、感じました。柏ヶ谷地区は地域の結びつきを強く感じるので、より多くの学校や子どもたちへの理解者を増やすことで、学校という場を中心として、さらなるコミュニティー作りの一つにも繋がり双方へのメリットになるのではないかと考えます。

委員：地域とのつながりを大切にしているイベントや活動が、いつもすごい！と思っています。利用者の満足度が高いのも納得です。今後の企画もとても楽しみにしております。（自分が何かの企画する際に、こっそり参考にさせていただきます）

学習室でPCのキーボードの音がうるさい、というご意見がありましたが、PCを使える場所を分けるなど、対応はご検討されているのでしょうか？私自身、よくPCを使うもので、図書館で使っているのかな？と思ったことがあります。私の頭ではなかなか良い方法は浮かびませんが、気兼ねなく使えるような工夫をしていただけるとうれしいです。

## ○両図書館について

委員：アンケート等を参考に、イベントなどは市のSNSも活用し、幅広く活動していただきたいと思います。